



No.53 発行日 26.12.15

# みどりの風

## MIDORI NO KAZE

H.P <http://akaneen.com/>

### 地域に目を向けて 共生社会への課題

副園長 松尾 公平

#### 障害者雇用の今

障害者雇用の現状はこの4・5年で大きく変わりました。法定雇用率の見直しもあり、企業からの求人は急増し、これまで一般就労が難しいとされていた方達へのチャンスが広がりました。

一方で、この就職バブルにより、学校を中心として就職していった人が企業で定着できず短期間で離職し、福祉側で大勢舞い戻ってくる「はね返り現象」が今、全国的にも大きな問題となっています。就職に向けての本人の力（準備）不足や定着支援の人手不足等の理由からチャンスを生かせず、障害者雇用に前向きだった企業からも一転して消極的な声が聞かれる事もあり、残念な思いです。

#### 障害者総合支援法、施行から1年半

平成25年に施行された障害者総合支援法。目指すところは障害のある人もない人も地域で共に暮らす社会です。施行から1年半が過ぎ、制度やサービスも少しずつですが充実が図られてきています。しかし、共生の社会を目指す一方で地域でのトラブルも非常に増えてきています。新聞やテレビ等で目にするだけでなく、身近な出来事として、公共の場におけるマナーの問題、職場や友人、異性等との人間関係トラブル、金銭トラブル等、警察が介入する場合も多く、公共施設の使用の制限や単独行動の自粛要請等に至るケースもあります。これまでとは違い、障害があるから、と「寛容な対応」や「黙認」には甘えられません。地域が不安を抱けばすぐに声が上がる時代です。



在職者交流会

#### 制度に甘えず、本人の持っている力を最大に

まさに、今、起きている、この障害者雇用の問題と障害者総合支援法を目指す「共生社会」への取り組みは、今後の障害者の地域生活を左右する大切なターニングポイントかと思えます。共通する課題は「いかにして定着し続けるか」です。

社会の取り組みとして、権利擁護や虐待防止等、彼らの「権利」を守る制度の充実は当然必要ですが、彼らの「義務」や「責任」も忘れてはなりません。地域の中で働き、楽しみ、暮らし続けている人には地域で受け入れられる理由があります。本当に地域や企業で求められる力は“生活力”（良い生活習慣）や“共生力”（人柄や社会のルール、マナーの遵守）なのです。「働く力」だけでは定着できません。

法人の設立当初からのモットーである「まずは自分達で出来る事を」の理念をもう一度思い出し、これから目指す「就職」や「あかね園に通い続ける」ためにも、今のうちに何を身につけるべきか（持てる力をどう出せるか）、そして、本人の力で難しい部分は制度やサービスを使う。それが「何か」また、どういうものが必要かを考えていかなければなりません。

開かれた地域から逆行し、福祉が社会の隅に追いやられることのないように、本当の意味での共生社会を目指す為には、「困った」と声を上げるだけでなく、地域の声を私達がしっかりと受け止めていくことも大切なのだと思うこの頃です。

## あかね園の歴史と共に変化してきた行事

あかね園では2カ月に一度のペースで毎年6回の行事を開催しています。

今や園の行事は、利用者はもちろん、園にとっても地域にとっても非常に大切な取り組みの一つとなっています。

利用者にとっての行事は“生活訓練”に位置づけており、単にお楽しみの機会ではありません。日頃の取り組みの中で学んでいる、他者との関わり方や身だしなみ、公共のルール・マナーや協調性等をポイントに、今後の地域生活の上で支障となりそうな事を実際の場面を通して確認します。また、行事の「楽しい」「美味しい」「欲しい」等の経験、体験を通じて、余暇活動の幅を広げ、働く意欲に繋げる意味もあります。

現在、利用者の人数は設立当初と比べて倍になり、年齢も10代半ばから40代後半まで幅広く、嗜好や体力面での違いも大きくなってきました。

今回はこうした背景から変化してきたあかね園の各行事の4本柱を紹介したいと思います。



### 一泊旅行

毎年、梅雨入りを心配しながらも、6月の第1週目に実施されるあかね園一泊旅行。新年度になると、異動があります。一泊旅行は、新しい園生、職員にとって関係を築く良い機会であります。生活面の自立度を確認する目的もあって、この時期の開催に意味を持たせています。

また、毎月の工賃を貯め普段の仕事を頑張っている園生自身へのご褒美でもあり、「仕事を頑張って来年も旅行に行きたい」と仕事への意欲向上にも大きく影響しています。

そのような理由から、これまでは上級ランクのホテルや宿を使い、北は北海道、南は沖縄まで行ってきました。

しかし、近年は人数が増えたため、移動手段もバス3台を連ね、更に利用者の年齢や体力の違いも出てきており、それに合わせ旅行の行程も3事業それぞれの企画で楽しむ形とし、夜の宴会だけは全員で楽しむ等の形になってきています。設立5年ごとの記念旅行も20年目までで終了となってしまいましたが、これからも利用者の状況に合わせて、変化しながら続けていきたいと思っています。

### あかね園の行事年間予定

4月 新年度オリエンテーション

6月 一泊旅行

8月 納涼祭

10月 バザー

12月 忘年会

1月 成人を祝う会（成人式）

※友の会コンサート（1年半毎に開催）

## 田中 康大さん

仁川アジアパラリンピック  
ロンドンに続き

100m平泳ぎ 金!

200mメドレー 銅!

応援Tシャツ販売中!



## 納涼祭

納涼祭は平成5年に暑気払いとしてはじまりました。当時の参加者は園生と保護者、職員が中心です。園庭の真ん中には檣を立て、盆踊り、カラオケ、花火等を楽しみました。

現在の納涼祭はたくさんの食事のメニューやゲーム、職員のパフォーマンス等、職員が中心となり皆さんを「おもてなし」する形となっています。

日頃お世話になっている地域の方々（ボランティア、園生の就職先、園外作業の場を提供して下さる企業等）や親の活動に尽力頂いている皆様への感謝の場であります。そしてまた、100名を超える、ふれあい会（卒業生）の同窓会として、余暇活動の成果発表の場として（太鼓披露）等、毎回の参加者も300名を超え、納涼祭の目的も多岐に亘ってきました。



## 忘年会

開園当初は園内でのクリスマス会としてはじまりましたが、平成2年に忘年会として、園の外に出て行く形となりました。忘年会といえば、豪華な食事。フランス料理のフルコースや船上クルーズ、中華料理、焼き肉パーティー等様々な体験を通じ、園生はこの忘年会で公共のマナーや食事のテーブルマナーを学び、公の場でも恥ずかしくない作法を身につけます。近年は参加者が150名近くなり、会場等の関係からホテルでの開催が主流となっています。



## バザー

今年で第28回を迎えたバザー。実は最初の開催は法人の設立された昭和61年、あかね園が開所する1年前に東京の赤坂プリンスホテルにて行われました。長きにわたって保護者会が中心となって準備や当日の販売を行なってきましたが、平成15年に初めて、たんぽぽ会（現：就労者親の会）との共催となり、現在のバザー委員会が中心となって行うかたちが出来上がりました。

近年はあかね園の活動が地域に広く展開し、認知度も高まったことで、売り上げも年々増え、来場者も1000人規模に。近年は開店前から行列ができる地域の名物行事にもなっています。今でも衰える事ない保護者のパワーには、若い職員達も脱帽です。 (M)



## 第28回あかね園バザーにご協力いただきました企業

フジッコ(株) (株)京樽 船橋工場 (株)フレッシュダイナー 日新化工(株) (株)ミスターマックス新習志野店 京葉測量(株)  
(株)デイリーフーズ京葉センター 金亀糸業(株) ニック食品(株) (株)セキヅカ商事 (株)おたべ (株)エスシー 東京エコール(株)  
ライフフーズ(株)市川センター (株)カルタス イオンフードサプライ(株) エスフーズ(株) 船橋興産(株) (株)日経首都圏印刷  
(株)ニチレイフーズ船橋工場パックセンター ロイヤル(株) (株)ダックス 文明堂製菓(株)船橋工場 京成バス(株)新都心営業所  
(株)京葉食品コンビナート協議会 船橋総合卸商業団地協同組合 (株)ロジスティクス・ネットワーク習志野物流センター  
小石産業(株) 石上青果(有) 肉の皆川 勝又自動車(株)コルネット事業部 (株)市川環境エンジニアリング (株)アグレックス  
サッポロビール(株)京葉物流センター 東京アート(株)第一物流センター (株)テンポスバスターズ イケア・ジャパン(株)  
三井食品(株) 利根ココロラボトリング(株)船橋支店 (株)ドトールコーヒー (株)ジェイアイシー (株)今半 船橋工場 豊茂園  
(株)船橋総行 (株)新橋 玉木屋 千葉工場 習志野市茜浜第3連絡協議会 (有)E-anbai (株)オランダ家 (有)ジュエリー後藤  
石橋梨園 セイスイ工業(株) (株)大地を守る会  
(順不同、敬称略)ありがとうございました。

## 「友の会」～コンサートのお礼～



いつもあひるの会への多大なご支援、誠にありがとうございます。去る6月27日、第25回コンサートは無事終了し、大成功の結果となりました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と感謝の念でいっぱいです。心よりお礼申し上げます。

毎回足を運んでくださる方、新しいお客様、卒業生、保護者等々が一堂に会し和やかに談笑する姿、買い物に精を出してくださる方などの光景は、私どもにとってとてもうれしいもので、活動の励みになります。

次回開催は来年11月27日に決まりました。また、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

## 第28回あかね園バザー報告

バザー実行委員長 岡崎幸子

10月5日開催の「第28回あかね園バザー」は、“本降りの雨”という生憎の天候にも関わらず沢山の来場者をお迎えして、今年も盛大に行う事ができました。雨対応ということで、一部売り場を屋内に移し、“バザー大会場”となった1F工場内では、手芸品、日用雑貨等、6ブースにお客様があふれるほど詰めかけて下さるといふ盛況ぶり。2Fの食堂や園庭テント下の台所用品、喫茶などのコーナーも、例年通り。お天気にこそ恵まれましたが、“豊富な商品”と“沢山のお客様の笑顔”にあふれたバザー風景となりました。

今年のバザーは、“濃縮タイプ”、その規模も会場内の方達の思いも濃度の高いものとなりました。ご協力頂いたすべての方々に深く感謝申し上げます。なお、収益金につきましては、社会福祉法人「あひるの会」への寄付とさせていただきます。

総売上：2,859,599円 総経費：363,595円  
収 益：2,496,004円

## 「友の会」へのご入会をお願いいたします。

一般会員（年間一口 3,000円） 法人会員（年間一口 10,000円）

郵便振替 00110-0-354445 銀行振込 千葉興業銀行 津田沼支店 普-4771251

口座名：社会福祉法人 あひるの会友の会 代表 国松実枝子

入会申込み、問合せは事務局まで Tel 047-452-2715 Fax 047-452-2693



## 園日誌より

4月に就業・生活支援センター事業へ所属になって、半年が経ちました。初めのうちは前担当者と一緒に回り、6月くらいから徐々に1人で担当の登録者の方のところへ定期的に巡回をしています。

巡回をし始めた当初は、登録者の数にただただ圧倒され、まずは名前と顔を一致させることに精一杯でした。様々な企業で障害者雇用が行われ、色々な仕事を担っている登録者がいるということを知り、勉強させてもらうことばかりの毎日です。巡回訪問で会社に赴くと、緊張しながらも職場の中での普段とは違う「働く」様子を見ることができ、こちらも、きゅっと引き締まる思いでいます。

最近になってようやく、登録者の方の生活や就業のことに少し触れられるようになってきたと思

就業支援ワーカー 下西 完奈

います。在職者の方向けの交流会などでも声をかけてもらえることが増えてきたので、これからはがんばりたいと励まされる日々です。

## 編集後記

53号は、特別にカラーでの発行です。行事の様子、田中さんの金メダルなど、生き生きして、編集がいつもより楽しく感じられました。特に今回は多くの方々のご協力と手助けで発行までこぎつけました。ありがとうございました。(A)

編集人 あひるの会友の会代表 国松実枝子

発行所 社会福祉法人 あひるの会「友の会」

〒275-0024 習志野市茜浜3丁目4番5号